

題字 秋田師山書

第 105 号
 秋田市手形学園町1-1
 秋田大学教育文化学部
 同窓会旭水會 内
 令和7年7月26日 発行
秋田県退職校長会



人生を分けた「あみだくじ」

— A君とX君の軌跡 —

秋田県退職校長会会長 伊藤 栄 二

県内会員の皆様には、ますますご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。本年度、秋田県退職校長会では、次の二つの重点事業に力を注いでおります。

一つ目は、令和8年に開催予定の「東北地区退職校長会協議会秋田大会」に向けた準備です。県内各地の皆様のお力添えが何よりも重要となります。東北各県から多くの会員をお迎えする大規模な催しですので、どうか引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。ちなみに、前回（平成30年度）の大会では、秋田県から77名もの方々が参加され、大いに盛り上がりました。今回も、多くの皆様にご参加いただけることを心より楽しみにしております。

二つ目は、本会のホームページの運用開始です。郡市ごとの活動報告や各種情報を共有することで、会員同士のつながりを一層深めるとともに、現職の校長先生方との新たな交流のきっかけにもなることを願っております。ぜひご覧いただき、皆様の率直なご意見やご感想をお寄せいただければ幸いです。

さて、私事になり恐縮ですが、私は東京の理工系大学の出身で、今年4月、卒業以来初めての学科同窓会が開かれました。入学した34名のうち、丁度半数の17名が約半世紀ぶりに再会し、懐かしい思い出に花を咲かせました。変わり果てた容姿のなかにも、昔の面影がふとよぎる瞬間が幾度もあり、当時の空気がそのまま蘇ってくるような、心温まるひとときでした。その中で、A君が語ってくれたあるエピソードが、私の心に深く残りました。

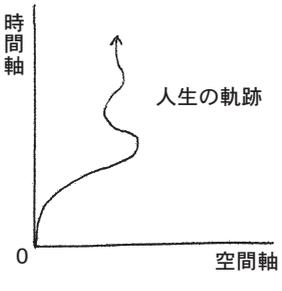
「大学4年のとき、研究室にF社という大手電機メーカーの就職推薦枠が一つだけ回ってきた。希望者は自

分とX君の二人。教授は『自分たちで決めなさい』と言います。結局、あみだくじでX君に決まった。仕方なく、自分は地元の市役所に就職することになった。そのX君も同窓会に参加しており、彼はその後F社で役員にまで昇進、今は悠々自適の生活を送っているそうです。一方のA君は、市役所勤務中に市議会議員に推され、28年間（7期）にわたり市政に尽力。そしてなんと、同窓会が開かれたその日の朝、A君が叙勲を受けたという知らせが新聞に掲載されたのです。たった一本の「あみだくじ」で分かれた二人の人生。しかし、それぞれの道が、それぞれの場所で実を結び、豊かな軌跡を描いていることに、深い感慨を覚えました。

人生とは、偶然と選択の積み重ねの中で形作られていくものです。どの道を選んでも、それが自分の歩むべき道となり、後になって振り返れば、すべての経験がかけがえのない宝となっている。あのとき「ああすればよかった」と思うこともあるかもしれませんが、今、ここに至るまでのすべてが、自分だけの唯一無二の、「人生」なのです。

限られた未来の時間を、私たちはこれからどのように生きていくのか。答えは人それぞれでしょう。しかし大切なのは、過去を悔やむよりも、今日を見つめ、前を向いて歩いていくことではないでしょうか。

…とはいえ、あみだくじで人生を決めるのは、あまりお勧めできませんが。



皆さんは、ご自分の母校の校歌を歌えますか。私の母校和田小学校は、54年前に統廃合で閉校しましたが、校歌は今でも歌えます。

2月28日の魁新聞「えんぴつ四季」に、68歳女性の「希望の統合」という投稿が載っていました。「築山小と中通小が統合、南中学校も併設」という新聞記事に寄せたもので、この方は中通小に入学し、1年で横手に転出、3年生で築山小に転入、5年生で湯沢へ、その後秋田南中に転入したそうです。「統合される3校は全てわが母校」で、「たった1年しかないけれど、中通小の校歌は60年経っても忘れない」と書かれていました。

現在、秋田市では児童・生徒数の減少による学校適正配置に取り組んでいます。配置案では将来の市立学校数の上限を小学校は27校（現38校）、中学校は16校（現19校）としています。昨年度も小学校2校が閉校しました。閉校に伴い残念なのは、何十年も地域の皆さんに親しまれ歌われてきた校歌が無くなってしまいうことです。地域の貴重な財産が忘れられていくことは本当に寂しいことです。そこで、秋田市退職校長会では、各校の校歌を収集・保存し、10年後、20年後の児童・生徒や地域の皆さんが校歌を懐かしみながら、いつでも聴

いたり歌ったりできるようにしたいと考え、現職校長会のご協力を得て、このたび、全63曲のデータを収集することができました。（秋大附小・附中、南高等学校、昨年度閉校した下北手小、太平小、旧高清水中の校歌も含みます。）

次に、保存や公開の方法ですが、幸運にもこの5月に秋田県退職校長会のHP（ホームページ）が開設されましたので、秋田市のフォルダに保存し公開をさせていただくことができました。実は、12年前にも各校で歌い継がれている「スクールソング」の収集・保存事業を行っていて、小・中42校から集まった周年記念歌や応援歌など78曲を、現在、秋田市教育研究所

のHPで聴くことができます。今回、その後新たに作られたスクールソングも校歌とともに収集しましたので、140曲以上の貴重な音楽資料を保存することになった訳です。後日、スクールソングも校歌と一緒に県退職校長会のHPに掲載する予定です。校歌等の公開が県退職校長会の諸活動を市民に理解していただくきっかけになればと考えています。校歌は市民や県民の大切な宝です。学校数減少の今だからこそ、皆さんで校歌の収集と保存を考えていきませんか。

秋田県退職校長会
常任理事 大山重幸



秋田県退職校長会
常任理事 大山重幸

校歌の保存と公開

ひとこと

令和7年度新入会員の紹介(敬称略)

〔鹿角〕

村方 聖紀 田中 洋 奈良 育

〔大館北秋田〕

長岐 公二 渡部 鋼喜 高橋 晋

神原 亮 御船美喜雄 奥山 法子

津幡 治久 武田 俊一

〔能代市山本郡〕

安井 敦子 上野 英人 工藤 真弘

佐藤 誠也 嶋田 正明 佐藤 充

近藤 克彦 谷内 直毅

〔男鹿市〕

櫻庭 豊 加賀谷正人 森山 直人

〔秋田市〕

鳥井 雅則 伊藤 悟 長谷川久寿 坂谷 陽

齋藤 彰

〔由利本荘・にかほ〕

大須賀 博 阿部 徳之 今村 聡

菊地 新吾 土倉 新也 近藤 千晴

鈴木 誠 大庭 良久

〔大曲仙北〕

加藤 雅人 西島羽 裕 島田 智

木村 光紀 米澤 孝子 築地 高

畠山 仁 渋谷 聡 栗林 靖雄

高橋 規子 高階 勝巳

〔横手市〕

石井 信恵 小坂 靖尚 佐藤 輝子

木村 篤子 山本 伸洋 西野 美佳

〔湯沢雄勝〕

佐藤 俊介 伊藤 秀樹 寺田 玲子

令和七年度秋田県退職校長会 理事会・総会

表記の会が五月十日（土）協働大町ビルで開催された。

総会では、前回の総会以降お亡くなりになられた会員へ全員で黙祷を捧げた後、初めに伊藤栄二会長からあいさつがあった。

【伊藤栄二会長】

昨年度は、各郡市からお招きいただいた研修会や総会には、都合のつく限り参加してきた。今年度も同様である。退職校長会が近年抱えている大きな課題として、会員数の減少と予算の逼迫が挙げられるが、事務局でいろいろと工夫し何とか乗り切つていきたい。本日の議題から二点紹介する。一つ目は、来年度開催される東北地区退職校長会協議会秋田大会である。参加を含め皆様のご支援をお願いしたい。二つ目は、開設準備を進めている県退職校長会のホームページである。会員確保につながるためにも現職の校長や先生方にも見ていただきたいと考えている。

伊藤会長のあいさつに続いて二名のご来賓



の方々から祝辞を頂戴した。

【安田浩幸秋田県教育委員会教育長】

鈴木新知事は、個性や多様性を尊重する教育や人口減少、少子化に対応した教育、デジタル教育に力を入れると話されている。学校の統合等の再編が進められているが、少子化に負けない学校をつくっていきたい。一人一台端末が更新時期を迎え、小・中学校は国の予算を県で基金を設け市町村で更新しているが、高校は補助がないので個人持ちとなる。また、フルクラウドの全県統一の校務支援システムを整備している最中である。今年度は高収入の出願が電子化され、ウェブ出願となる。デジタル化は全国学テにも及んでいる。そして、先生方の教職調整額は現在4%であるが、来年一月から1%ずつ上げていき令和十二年度には10%になる予定である。さらに、高校の無償化や給食の無償化など子育て支援に莫大な予算を費やす流れとなっている。

【大山裕秋田県小・中学校長会長】

今年度は七月に東北連小秋田大会、来年度は同じく七月に東北地区中秋田大会が開催されるということ、これまでの取組を県内外に発信する重要な二年となる。学校教育を取り巻く現状は、少子化の影響、いじめや不登校、教職員の働き方改革、PTA活動の改革など課題を挙げればきりが無いが、目の前の子どもたちの成長保障を第一義とし、学校の顔である校長として、常に笑顔で教育愛をもって児童生徒や保護者、教職員に接するこ

との大切さを校長会会員で共有しているところである。

〔議事〕

その後、越中谷俊悦事務局員を議長に選出し、次の議案について審議した。

- ① 令和六年度会務報告
- ② 令和六年度監査報告及び決算について
- ③ 令和七年度事業、活動計画（案）について
- ④ 令和七年度予算（案）について

・ホームページ作成に係る予算の捻出については、総会で開設・運用が承認された場合、事務局費から充当する予定である。

- ⑤ 役員改選について
- ⑥ 組織について
- ⑦ その他

・全連退にもホームページがある。経費削減の取組の推進については各都道府県からも要望がある。

・秋田大会の基本計画案については、六月の事務局会を経て、七月の郡市会長・事務局長合同の会でご意見をいただきたいと考えている。

すべての議事が滞りなく承認された後、感謝状の贈呈があった。本年度は、大曲仙北退職校長会の渡邊義實会長、湯沢雄勝退職校長会の滑川道彦事務局長に贈呈された。

総会後に行われた懇親会には来賓の大山会長を含む四十名が参加し、和やかな雰囲気の下で親睦を深めることができた。

令和6年度 会計決算書

収入総額 2,232,223円
 支出総額 2,028,204円
 差引残額 204,019円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	付 記
1. 会 費	1,815,000	1,785,000	-30,000	1,500円×1,190人
2. 特別協賛金	0	0	0	
3. 繰越金	447,097	447,097	0	令和5年度より繰り越し
4. 雑収入	10	126	116	貯金受取利子
合 計	2,262,107	2,232,223	-29,884	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	比較増減	付 記
1. 会議費	185,000	174,124	-10,876	
(1) 総会費	90,000	88,824	-1,176	資料関係、会議室料、交通費等
(2) 理事会費	65,000	64,720	-280	資料関係、会議室料、交通費等
(3) 監査会費	20,000	20,580	580	会場費、交通費等
(4) 事務局会費	10,000	0	-10,000	
2. 業務費	370,000	291,040	-78,960	
(1) 旅費	320,000	271,040	-48,960	全連退、東北協議会参加
(2) 慶弔費	50,000	20,000	-30,000	表彰者祝い金
3. 事務費	285,000	269,304	-15,696	
(1) 通信費	110,000	112,513	2,513	会報等送料、発送材、振込料金等
(2) 消耗品費	30,000	13,655	-16,345	紙、封筒、インク等
(3) 雑費	45,000	60,789	15,789	感謝状・賀詞等印刷代
(4) 事務局費	30,000	25,347	-4,653	事務局通信費、秋田県教職員録等
(5) 報償費	70,000	57,000	-13,000	事務局会等交通費
4. 事業費	916,000	797,736	-118,264	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	男鹿市・秋田市・横手市へ各20,000円
(2) 秋季研修大会費	85,000	33,402	-51,598	会場費、講師交通費、資料等
(3) 調査費	10,000	0	-10,000	
(4) 会報印刷代	210,000	198,000	-12,000	県会報印刷費(2回)
(5) 郡市連絡協議費	90,000	55,300	-34,700	郡市総会・郡市研修会等への派遣費等
(6) 郡市研修活動費	121,000	119,000	-2,000	郡市へ100円×納入者数(1,190人)
(7) 「教育の日」活動費	60,000	56,754	-3,246	「あきた教育の日」関連活動費
(8) 郡市会長・事務局長合同会議費	80,000	75,280	-4,720	資料関係、会議室料、交通費等
(9) 記念事業準備金	50,000	50,000	0	特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等)
(10) 東北大会準備金	150,000	150,000	0	特別会計へ(6年周期東北秋田大会用)
5. 負担金	504,000	496,000	-8,000	全国(400円×1,190人)、東北20,000円
6. 予備費	2,107	0	-2,107	
合 計	2,262,107	2,028,204	-233,903	

令和7年度 収支予算書

収入総額 1,944,119円
 支出総額 1,944,119円
 差引残額 0円

【収入の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1. 会 費	1,740,000	1,815,000	-75,000	1,500円×1,160人
2. 特別協賛金	0	0	0	
3. 繰越金	204,019	447,097	-243,078	令和6年度より繰り越し
4. 雑収入	100	10	90	貯金受取利子
合 計	1,944,119	2,262,107	-317,988	

【支出の部】

(単位：円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	付 記
1. 会議費	180,000	185,000	-5,000	
(1) 総会費	90,000	90,000	0	資料、交通費等
(2) 理事会費	65,000	65,000	0	資料、交通費等
(3) 監査会費	20,000	20,000	0	会場費、交通費等
(4) 事務局会費	5,000	10,000	-5,000	会議費等
2. 業務費	325,000	370,000	-45,000	
(1) 旅費	275,000	320,000	-45,000	全連退、東北協議会他
(2) 慶弔費	50,000	50,000	0	慶祝・弔意、表彰
3. 事務費	281,000	285,000	-4,000	
(1) 通信費	120,000	110,000	10,000	会報等送料、発送用具等
(2) 消耗品費	16,000	30,000	-14,000	紙、封筒、インク等
(3) 雑費	60,000	45,000	15,000	筆耕料、謝礼 他
(4) 事務局費	25,000	30,000	-5,000	事務局通信費、コピー、印刷費等
(5) 報償費	60,000	70,000	-10,000	事務局会等交通費
4. 事業費	674,000	916,000	-242,000	
(1) 教育懇談会費	60,000	60,000	0	大館北秋田、由利本荘・にかほ、湯沢雄勝へ各20,000円
(2) 秋季研修大会費	55,000	85,000	-30,000	会場費、講師謝礼、資料等
(3) 調査費	5,000	10,000	-5,000	調査等に係る経費
(4) 会報印刷代	200,000	210,000	-10,000	県会報印刷費(2回)、関係資料代
(5) 郡市連絡協議費	58,000	90,000	-32,000	郡市総会・郡市研修会への派遣費
(6) 郡市研修活動費	116,000	121,000	-5,000	郡市へ100円×納入者数(1,160人)
(7) 「教育の日」活動費	60,000	60,000	0	「あきた教育の日」関連活動費
(8) 郡市会長・事務局長合同会議費	80,000	80,000	0	会議室料、資料、交通費等
(9) 記念事業準備金	10,000	50,000	-40,000	特別会計へ(節目の年の記念紀要作成等)
(10) 東北大会準備金	30,000	150,000	-120,000	特別会計へ(6年周期東北秋田大会用)
5. 負担金	484,000	504,000	-20,000	全国(400円×1,160人)、東北20,000円
6. 予備費	119	2,107	-1,988	
合 計	1,944,119	2,262,107	-317,988	

令和6年度 特別会計決算書

収入総額 1,033,627 円
 支出総額 0 円
 差引残額 1,033,627 円

【収入内訳】

1 前年度繰越金 833,517 円
 2 記念事業準備金 50,000 円
 3 東北大会準備金 150,000 円
 4 受取利子 110 円
 合計 1,033,627 円

【支出内訳】

・支出項目なし

合計 0 円

※ 上記の残額 1,033,627 円については、別冊「特別会計」用の通帳に、貯金保管中である。

令和7年度 秋田県退職校長会役員一覧

◆県【事務局所在地】 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部「旭水会」内 TEL/FAX 018-831-2783

顧問	佐藤 重義	千葉 昭	佐藤 俊彦	高橋 一郎
会長	伊藤 栄二			
副会長	伊勢 善和	伊藤 章	佐々木孝雄	米澤 喜彦 (会長職務代行者)
常任理事	佐藤 敬顕	安倍 武義	大山裕一郎	大山 重幸
理事	各郡市から1名(但し、秋田市から3名) 下記のとおり			
監事	戸未 容子 (鹿角)	茜谷 英也 (秋田市)	姉崎 克則 (湯沢雄勝)	
事務局長	石郷岡仁司			
事務局員	佐々木康二 工藤 隆	工藤 絹子 加賀谷 亨	齋藤 透 米澤 喜彦	越中谷俊悦

◆郡市【会員数】 1,468名 (内名誉会員333名) R7.6.30 現在

退職校長会名	会員数	会長	副会長	県理事	県代議員
鹿角	68 (53) 《15》	望月 伸哉	吉田 啓一	望月 伸哉	戸未 容子・石井 和光
大館北秋田	206 (160) 《46》	伊勢 善和	小笠原友行・菅原 明雄 明石 勝美	伊勢 善和	小笠原友行・菅原 明雄 明石 勝美・佐藤 久生
能代市山本郡	174 (142) 《32》	佐藤 敬顕	松山 敬悦・近藤 和雄 竹内 秀樹・佐藤 智子	佐藤 敬顕	松山 敬悦・近藤 和雄 竹内 秀樹・佐藤 智子
男鹿市	59 (50) 《9》	伊藤 章	村木 康子・浅井 繁樹	伊藤 章	村木 康子・浅井 繁樹
秋田市	236 (165) 《71》	伊藤 栄二	米澤 喜彦・大山 重幸	羽川 誠眞 濱田 重幸 大山	三條 正弘・鎌田 寿和 千葉 学・茜谷 英也
由利本荘・にかほ	201 (160) 《41》	安倍 武義	菅原 耕悦・高橋 行二 池田 弘美・織田羽衣子 伊東 金一	安倍 武義	池田 弘美・菅原 耕悦 織田羽衣子・阿部 明
大曲仙北	227 (172) 《55》	渡邊 義實	柴田 政幸・高橋 正彦 小原 靖・山崎 敏	渡邊 義實	高橋 正彦・小原 靖 山崎 敏・佐藤 心一
横手市	188 (138) 《50》	佐々木孝雄	永沢 弘・鈴木 康	佐々木孝雄	永沢 弘・鈴木 康 新田 義孝
湯沢雄勝	109 (95) 《14》	大山裕一郎	門脇 博・高橋 剛	大山裕一郎	門脇 博

郡市だより ~ 退職校長会に寄せる思い ~

鹿角

新たな生活スタイル模索中

村方 聖紀

三月末自己都合退職し、四月からは初任者研修の指導教員として中学校二校に勤務しています。再任用短時間の形態で週二十時間勤務です。退職しましたが、職名は教諭。度々その理由を聞かれますが、自分でもよくわからない説明を繰り返しています。久しぶりの中学校勤務では、若い先生方の澁刺とした姿を見ながら楽しく毎日を過ごしています。

今後の課題はゆとりの時間をどう過ごすか。とりあえず家に長年放置してきた過去の書類や本などの整理をしています。一段落した後はどう過ごすか模索中です。

新たなスタート

田中 洋

四月から、教諭(初任者研修統括指導教員)として、役職定年した花輪小学校に勤務しています。三月まで校長だったので、子どもたちから「何をしているの?」「なんて呼ばばいいの?」などと、質問攻めに遭っています。初任者研修を通して子どもたちに関わる喜びを感じています。今年度、鹿角地区小学校の新規採用者六名中、三名が他県出身であることから、秋田県教育の魅力を少しでも伝えていければと思います。研修では先輩方が作成された資料を活用させていただいております。今後ともよろしく願っています。

大館北秋田

よろしく願っています

神原 亮

昨年度から始まった定年延長・役職定年の制度。諸先輩の様子を見つつ一年間考え、少しでも現場の役に立てればと思いい教諭として残ることにしました。現在は、毎日の授業を通して子どもたちと直接関わることを新鮮に感じています。先日の大北退職校長会総会と懇親会で新入会員と紹介していただきましたが、教諭という立場での参加は不思議な気分でした。当日は、私が若い頃からご指導していただいた多くの皆様の姿を見ることができ嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。これからよろしく願っています。

健康的なセカンドライフを目指して

御船 美喜雄

定年延長はせずに自己都合退職を選択し、教員生活に区切りを付けました。四月からは週二日スクールソーシャルワーカーとして北教育事務所勤務しています。これまでとは違って日々の時間の流れが緩やかになり、いささか心地よさを感じる今日この頃です。

退職後は、何より健康に気を付けていかなければならないと自戒し、朝夕の散歩を日課にしようとして取り組んでいます。おかげさまで、夕方の散歩後のビールは実に格別です。セカンドライフの充実に向けて、今後も諸先輩のご指導、ご助言をよろしく願っています。

能代市山本郡

退職校長一年生

工藤 真弘

三月まで、学校現場では年長ということもあり、一応見せられる背中は見せなければならぬと肩に力が入りっぱなしでした。

四月に退職校長会定期総会・懇親会に参加していただきました。かつて、背中を追い続けた先輩方とお目にかかることができました。能代山本の教育に対する先輩方の情熱に触れ、初心に戻った思いでした。新規加入の今年度は退職校長一年生、誰かに背中を見せてがんばる必要はありません。しばらく初々しい気分を味わわせていただきます。

どうかよろしくご指導ください。

朝のにおいに気付いて

佐藤 充

退職してから二週間ほど過ぎた日の朝。外に出た時のにおいが、日毎に違うことに気付きました。草木のにおい、ほこりのにおい、雨上がりのにおい、こんなに違っていたのに気付いていなかったのだと、在職中にせわしなく過ごしていた自らの姿を顧みしました。

学校を離れて思うのは、先に退職なさった先輩方が、これまでいかに学校に心を向け、気にかけてくださっていたかということです。常にはお日様のような眼差しを、時には薫風を届けてくださり、救われたことが思い出されます。自分もそうありたいと思う今です。

男鹿市

第二の社会人 一年生

加賀谷 正人

令和七年三月末をもって六十歳の役職定年を機に退職し、退職校長会に入会いたしました。退職から一ヶ月あまり、まだ時間の使い方が定まらず、まずは身近なところから整理整頓、断捨離を進めているところです。母校を教員人生最後の職場として退職し、学校そばに住んでいることから時々学校から聞こえてくる子どもたちの歓声に、元気をもらって毎日過ごしています。地域住民の一人として、退職校長会の諸先輩方からご助言をいただきながら、退職校長会としての活動や地域貢献に努めて参りたいと考えているところです。

下りの人生を楽しみたい

櫻庭 豊

四月下旬、男鹿市退職校長会総会・研修会に参加し、お世話になった多くの校長先生方にお目に掛かることができました。研修会で二十歳代の講師の話に、メモを取り真剣な表情で聞き入る先輩方の姿に触れ、人生は自分磨きの登山であることを再確認できました。

三十八年間の教職生活は、常に頂上を見て脇目も振らずに歩んできたような気がします。これからは、昔の出来事に思いを馳せたり、遠くの景色を眺めたりしながら、優雅に人生を下っていきたいと考えています。会員の皆様、これからもよろしくお願いいたします。

秋田市

「健康第一」を心に入れ

齋藤 彰

令和七年三月末に退職辞令をいただきました。三十八年間の教職員生活。そのうち校長の職務を担ったのは六年間でした。校長昇任の年にコロナのため全国一斉臨時休校。児童と職員だけの卒業式になったことが強く心に残っています。教職員生活では、周りのたくさんの方の仲間にも助けられていました。そのご恩を少しでも、どんな形ででもお返しすることができればと願っています。そして、これからの生活を、「健康第一」を心に入れながら楽しんでいこうと思っております。皆様、どうぞよろしく願います。

引き続きよろしく願います

伊藤 悟

現職の頃、先輩から「校長同志の連携」の重要性を教えていただき、多くの校長先生方と対話を重ねながら学校経営に当たることができました。勤務校での周年行事での式辞について互いに参考にし合ったり、突発的な危機への対応を相談し合ったり、他の校長先生方の助言は本当にありがたいものでした。自分も孤独ではないことを痛感したものです。

四月から栗田支援学校の講師(臨時)として高等部三年生の担任をしています。校長会で紡いだ絆を支えにして、新しい世界で頑張ります。引き続き、よろしく願います。

由利本荘・にかほ

新たな一歩

大須賀 博

四月の地区総会で多くの方々から歓迎していただき、退職校長会に入会いたしました。とはいえ、現在も教諭として学校勤務を続けているため、「退職校長会」という名称にはあまり実感がわかないというのが正直なところです。現在は、六人の初任者と関わりながら、各校の児童と休み時間を共に過ごすことで、心が若返っているように感じています。また、このたび退職校長会の幹事をお引き受けすることとなりました。その任務も全うできるよう努めてまいりたいと考えておりますので、今後ともご指導をお願いいたします。

目指すところは同じ

鈴木 誠

役職定年に伴い、総合教育センターの指導主事を申し付かりました。

主に生徒指導関係の講座や相談業務、近隣市町との連携業務に当たっております。直接子どもたちに指導・支援することはほとんどなく、教職員や保護者を対象にして働きかける業務となっております。

その形と方法は異なりますが、子どもたちの健やかな成長を支えるという点では同じです。犬馬の労をとるようには職責を全うし、秋田県の子どもの健やかな成長を支えて参りたいと思っております。

大曲仙北

学校っておもしろい

佐藤 信夫

役職定年、定年退職を経て、大曲小学校で再任用がスタート。62歳の生徒指導主事を任せられてしまいました。30年ぶりに！

私が主に活躍している時間は、1時間目が始まるまでの朝の時間と、6時間目が終わった後の時間です。

3度目の大曲小学校には、私が担任した教え子のお子さんがたくさんいます。それに、私自身の息子や娘の後輩も、先生として同職しています。

微妙な立ち位置ですが、「授業は楽しい！」「学校っておもしろい！」

宝 物

米澤 孝子

令和七年度、一国語教師として、授業に携わるチャンスを得ました。毎日の生徒たちとのやりとりは、校長職とはまたひと味違う、刺激的な時間を味わわせてくれます。

「米」関連のニュースに事欠かないこの頃ですが、「玉穂」という言葉の通り、稲穂の一粒一粒のような玉（宝物）である生徒たちとの関わりを楽しみつつ、尊敬する先輩方との会でたくさんお話しすることを今年の抱負にして、欲を言えば、私も「玉」の輝きをまとつてみたいなあと思うこの春です。そして、夏に向かって元気パワーを充電中です。

横手市

一人ひとりに

小坂 靖尚

役職定年で退職し、4月1日を境に眠りの質が随分と変わったことを実感、そして息子の送迎や部活動親の会への協力に余裕をもって時間を費やすことができる毎日です。

さて4月から勤め始めた教育支援センターは、立ち位置や親との関係など戸惑うことが多々ありますし、多様な子どもたちが入室してきますので、現職時にモットーとしてきた「二人ひとり（に応える）」を正に具現化しなくてはいけないところです。これまでお世話になってきた学校現場に対し、少しでもお力になれたらと思つて過ごしています。

新たな出会い

西野 美佳

多くの方々との出会い、支えていただいた教職員生活でしたが、無事に四月一日を迎え、晴れ晴れとした気持ちでいっばいです。

四月からは、縁あつて東成瀬村で生涯学習コーディネーターとして勤めることになりました。これまでの社会教育施設、生涯学習課での勤務経験を生かした仕事に携わることができることに感謝するとともに、日々、新たな人・こと・ものとの出会いに心躍らせる毎日です。

心に余裕をもつて取り組んで参りたいと思います。どうぞよろしく願ひいたします。

湯沢雄勝

入会にあたり

佐藤 俊介

退職の日が近づくにつれて、春からの生活がどのようなになるのか、期待と不安が入り交じったような感覚になりました。いざ新生活が始まると、これでいいのかという不安が先に立つようになりました。そんなときに先に退職された先輩からお声がけをいただきました。その時にお話をしていたこと全てがありがたく、自分の進む方向を指し示してくださったような気持ちになりました。今後も先輩方から多くのご教示をいただける場として、本会の活動に期待をしていきたいと強く願っています。どうかよろしくお願ひいたします。

微力ながら

伊藤 秀樹

三月末に退職し、二ヶ月が経ちました。在職中は「仕事を辞めたら、これをやりたい、あれもやりたい」と考えていたのですが、まだ何もできていません。「いつでもできる」と思っているからでしょう。

四月からCSダイレクターとして市教委に勤務しています。湯沢市が市内の学校をコミュニティ・スクールに指定して六年度。ダイレクターとして、学校と地域の協働をさらに促進させるため、力を尽くしたいと思ひます。

現職&退職校長会の主な動き

現職校長会情報

(1) 秋田県小・中学校長会定期総会

五月十二日(月)に開催された標記の会は、書面表決で行われ、令和七年度の新役員が次のとおり決まりました。

【小 学 校】		【中 学 校】	
役職	氏名 (校名)	氏名 (校名)	
会長	伊藤 学 (築山)	大山 裕 (泉)	
副会長	三浦 亨 (旭北)	石塚 智佳 (将軍野)	
"	石井むつみ (十和田)	野村 誠 (能代二)	
"	戸賀瀬百合賀 (西目)	渡邊 一幸 (天王南)	
"	井上 英樹 (東成瀬)	畑 朋幸 (横手南)	

小・中学校長会長には、大山裕氏が選出されました。

令和六年度末に役職定年を迎えられ退会となった会員は全県九十二名です。

(2) 秋田県小・中学校長研究大会

標記の会が次のような日程・概要で開催される運びです。

日時 令和七年八月十八日(月)

会場 秋田県総合教育センター・秋田県自治

研修所

主題 「未来に向かって夢はばたかせ、

たくましく生きる児童生徒の育成」

右記主題のもと、午後からの半日開催とし、中学校3分科会が行われます。

本年度の研究大会は、東北連小秋田大会開催のため中学校のみの開催となります。

(3) 本年度の東北大会(小・中)

◆東北連合小学校長会研究協議会秋田大会

日時 令和七年七月三日(木)～四日(金)

会場 あきた芸術劇場ミルハス 他

主題 「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

◆東北地区中学校長会研究協議会山形大会

日時 令和七年七月三日(木)～四日(金)

会場 やまぎん県民ホール 他

主題 「豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手を育てる中学校教育」

退職校長会情報

(1) 全連退理事会・総会

令和7年6月5日(木) 6日(金) 全連退理事会・第61回総会が、東京都「きゅりあん」(品川区立総合区民会館)で開催された。秋田県からは、伊藤栄二会長、米澤喜彦副会長、石郷岡仁司事務局長が参加した。

総会では、次の議事が提案され、全て承認された。新役員として本県から米澤喜彦副会長が監事の役を担うことになった。また本年度は設立60周年記念の年にあたり、記念事業についての説明があった。また年間紀要の簡素化など経費削減についての説明もあった。

- ① 令和6年度会務報告
- ② 令和6年度決算報告・監査報告
- ③ 令和7年度役員承認
- ④ 令和7年度活動目標・事業計画
- ⑤ 令和7年度予算
- ⑥ 総会宣言の採択

6日(金) 午後からは、設立60周年記念講演会として、『乱にいて治を忘れず 治にいて乱を忘れず』をテーマに、元宮城県南三陸町立志津川中学校長菅原貞芳氏から、震災から学んだこと伝えたいことのご講演をいただいた。お話からは、震災を教訓に記憶の風化を防ぎ、来るべき災害に向けて万全の心構えと準備を怠ってはいけないことを学んだ。



(2) 郡市会長・事務局長合同の会

7月5日(土)に「郡市会長・事務局長合同の会」が協働大町ビルで開催された。会議での協議の概要は次のとおりである。

① 地区退職校長会から

各地区の活動状況と抱える課題について情報交換を行った。会員数の減少は否めないがその確保に努力していること、様々な工夫を重ね経費の削減に努めていること、学校現場への支援例などが報告された。



② 第52回東北地区退職校長会協議会秋田大会について

令和8年度に実施予定の大会日程と実行委員会の組織について事務局より提案し、意見を求めるとともに協力をお願いした。秋田県内会員の参加費について考慮してほしいなどの要望があった。

③ ホームページの活用について

今年から運用を開始する県のホームページの活用について、事務局から、各地区の活動状況を発信し情報を共有することでさらなる活動の充実を図ってほしい旨の説明があり、各地区の会報などの掲載をお願いした。

(3) 東北地区退職校長会協議会福島大会

令和7年10月9日(木)に、山形県山形市「山形国際ホテル」において開催予定である。大会協議題は「充実した生き方や地域の教育・文化の向上に資する活動はどうあればよいか」で、大会当日は、理事会、講話、各県からの話題提供が行われる。話題提供は今年度より二県となり、秋田県と青森県が担当である。秋田県からは、横手市退職校長会の酒井浩先生からお話をしていただく予定である。

第45回秋季研修会開催案内

【日時】 令和7年10月18日(土)

【会場】 秋田市協働大町ビル

【主題】 「退職後の生きがいや

在り方をもとめて」

【日程】

開 会 式 10時20分～10時45分

講 演 10時45分～11時55分

講 師 元秋田県立大学

知能メカトロニクス科教授

佐藤和人氏

演 題 「AIの活用について(仮)」

発 表 12時00分～13時00分

① 鹿角 佐藤 良子氏

② 横手市 酒井 浩氏

懇 親 会 13時10分～15時00分

会員のご逝去(敬称略)

心からご冥福をお祈りいたします。

(104号以降)

氏名 年月日 住所

山岡多郎右門 6・8・13 北秋田市鎌沢

田村 茂勝 7・2・6 大館市十二所

小坂 浩子 7・3・19 北秋田市栄

成田 治郎 7・3・23 大館市北神明町

高谷 松英 7・5・17 大館市釈迦内

山本 孝明 7・1・6 能代市落合

日高 光男 7・2・16 能代市青葉町

保坂勝太郎 7・2・21 能代市西通町

石川 勝夫 7・4・6 三種町鹿渡

畠山 昭二 7・5・2 能代市落合

檜森 治樹 7・3・30 秋田市手形

関口 隆史 7・2・4 由利本荘市宇鶴沼

(從六位) 大久保敬一 7・2・20 にかほ市象潟町

(從六位瑞宝双光章)

加藤 吉昭 7・1・28 美郷町飯詰

後藤 光三 7・2・13 大仙市太田

高橋 良昭 7・4・4 大仙市大曲

鈴木 初彦 7・4・4 大仙市大曲

(正六位)

林 誠 7・5・7 大仙市大曲

久米 協一 7・5・15 横手市旭川

高橋 敏雄 7・1・15 湯沢市湯ノ原

高田 達郎 7・3・3 横手市増田町

齊藤 勝志 7・3・23 湯沢市両神

会員の寄稿

かづの未来塾

～子供たちのために今できること～



鹿角 田中 覚

地域未来塾は、平成三十年度にスタートした鹿角市学校協働活動の事業の一つです。

令和元年度から実施した地域未来塾は、長期休業中に地域の人材を活用して子供たちの学習を支援しようという活動です。塾の名称を「かづの未来塾」とし、私は統括推進員として、発足当初からこの活動に関わってきました。

学習支援員として、教員OBや学習指導に携わる地域住民、大学生、高校生ボランティアなどの方々の協力を得て、夏季休業中から開催しました。

令和二年度は「コロナ」の影響で中止となりましたが、三年度は感染対策を徹底し、午前一時間、六日間の開催としました。この形を現在も続けています。

ボランティアの高校生は、参加者の課題の丸付けや休憩後の読み聞かせなどを行っています。また、会場の確保、参加募集のチラシの作成・配布・取りまとめ、用具の準備等

は、教育委員会生涯学習課で担当しています。

学習課題は、参加する子供たちが自分で準備してきます。自分で準備した課題が早く終わったら、読書や他の課題に取り組むよう学習支援員がアドバイスをしています。

終わった後、子供たちは「よく分かった」「集中できた」「予定より多くできた」「次もこの塾に参加したい」など、参加してよかったと話してくれています。

昨年度は、この塾に参加した子供が、高校生ボランティアとして協力してくれました。

これからも地域の方々のお借りして、子供たちの学習を支援していきたいと考えています。

(平成二十七年三月退職)

岱野駅前プロジェクト



大館北秋田 三浦 孝志

退職後は、好きなことをして過ごしてきました。退職を機に始めた家庭菜園、若い頃できなかった歴史や古文書の勉強、行きたいところだつてたくさんあった。とても充実していると思っていた。そんな折、人間ドックで良くないものが見つかった。数度に及ぶ入院と手術。「やり残したことはないか」と考え

た。「地域の役に立ちたい」と思った。

そんな折、町内にたくさん問題を抱えている場所があることを知った。ハチ公ドームの隣にある旧小坂鉄道岱野駅周辺が、雑木や雑草が生い茂り荒れ放題になっていて、ドーム周辺の景観を著しく低下させていた。治安上及び生活安全上の危険性もあり、住民が困っていた。令和元年、仲間と旧小坂鉄道岱野駅周辺の景観の悪化と危険性の解消に向けて、住民が安心して暮らし、誇りの持てる景観をつくることを目的に「岱野駅前プロジェクト」を立ち上げた。住民と話し合い、たくさん問題を抱えていたこの場所にあじさいを植え、ドーム周辺緑地、樹海公園、桜並木等と一体となった一大観光名所を創ることにした。目玉事業に「あじさいレールロード十年プラン」を掲げた。住民の手で線路の側面を整備し、十年間かけて両側にあじさい三千本を植樹し、全国に誇る「あじさいレールロード」を創り上げようとする計画である。

六年目の昨年度までに、多くの住民にご協力をいただき、あじさい二千五百本の植樹を行うことができた。「あじさいレールロード十年プラン」は多くの人のご協力、ご支援のおかげで確実に前進している。今後も令和十年度の完成に向けて、住民の理解を得ながら、事業を進めていく。

(平成二十九年三月退職)

水と雑草と人と



能代市山本郡

三浦清美

農業に関わっている方は知っているかと思いますが、農林水産省の補助事業に『多面的機能支払交付金』があります。解説を読むと、「農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全等の多面的機能を有している。しかし、農村地域の過疎化、高齢化等の進行により多面的機能の発揮に支障が生じている。この交付金により、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。」とあります。

私の住む集落では『山口水田保全組合』を設立し、この交付金を活用しながら二十五畝の水田の維持・管理を行っています。私自身も組合員の一人として、主に次のような活動を行っています。

一つ目は揚水機当番です。水田は二つのため池からパイプラインで用水を送ります。四月から八月まで毎朝六時に揚水機を作動し、夕方五時(田植え終了後は昼の十二時)に機械を止めます。また、ため池の水だけでは足りないのです、もう一つの揚水機で三種川からため池に水を汲み上げます。

二つ目は草刈りです。自分の田んぼはもちろんです、ため池や用水路、農道や揚水機

場の草刈りが九月まで続きます。

三つ目は人集めです。ため池の草刈りや用水路の泥上げ、農道の路面維持作業などは人手が無いとできません。年々高齢化が進み、きつい作業が厳しくなってきました。普段は農業に関わらない人達にも声を掛け、作業に協力してもらっています。

代々伝わるこの田園風景を未来に繋げていくことが、これからの最重要課題です。

(平成三十年三月退職)

力不足ではありますが…



男鹿市

三浦喜博

再任用三年目の今年は、十年ぶりの教務主任・教員人生初の理科専科として、現任教員としての責任を痛いほど感じながら勤務を続けています。

十年前教務として勤務していた五城目小学校にお世話になることになり、学校事情はある程度理解できていると考えてたが、赴任早々、それは大きな間違いであったことに気付かされた。

校舎の境界を越えて、子どもたちが地域に飛び出す「越える学校」。学びの常識を越え、年齢の境界を越えて、大人たちがまた学び出す「みんなの学校」。三年間の「スク

ールトーク」によって新しく生まれたこのコンセプトのもと、学校の全てを学びの場とする取組が進められる。

学校は、教育留学に訪れる全国から集まる子ども、公開講座に訪れる地域住民にも開放されている。開校以来、様々な取材や視察を受けているのも納得がいく。

現在の校舎の立地を生かした行事が、五月に開催された全校ウォークラリーだ。校舎を中心に生涯学習エリアや里山エリアをめぐるコースが特徴で、公園の上からは町のシンボルである森山と校舎をバックに写真を撮影できる。

秋には活動エリアを朝市エリアまで広げた二回目のウォークラリーが計画されている。自身の教員生活は間違いなく最終盤を迎えている。今の立場は、最後の力を振り絞って、自分自身を「越える」ことを求めているようである。

(令和五年三月退職)



高齡者教育に携わって



秋田市

高橋 澄雄

退職後、今年の3月まで6年間、秋田市中心市民サービスセンターで高齡者教育を担当しました。市全体を会員対象としている高齡者大学を二つと市の中央部の各コミセンなどを会場とする地域ごとの高齡者学級を五つ担当し、各学級で毎月1回、講演講師を招いて講話会を企画するというものです。

講師は、政治・経済分野、健康・医療分野の他、文学・歴史・考古学・地理・地学・宗教(主にお寺の住職さん)。音楽、漫談(お笑い)、気象・防災・避難所生活などなど多岐にわたる講師を分野が偏らないよう配慮しながら企画してきました。この仕事を通して、自分自身が一番勉強になったと感じています。高齡者の健康問題(認知症予防やがん医療)、年金や介護保険について、高齡者の節約生活についてなど、これからの生活に直結する問題や課題にすぐに役立つ情報を得ることができたと感じています。また各大学・学級の年2回の移動学習という学校でいえば遠足のような行事もありました。県内の名所・名跡や各施設などを見学できたことも、現職時代にはあまり時間がなかったこともあり、訪れたことがなかった数々の場所を学級の皆さんと一緒に回れたのも大変楽しい思い出

なりました。

退職してからの生活を第二の人生といいますが、私は、その第二の人生をまた10歳から始めたと考えるようにしました。と考えると今年で7歳になるのでちょうど小学校入学となりました。これから訪れる中学校や高校時代、そして青春時代を迎えられるよう、6年間で培った知識を総動員して頑張っていきたいと考えています。

(平成三十一年三月退職)

一年生が面白い



由利本荘・にかほ

安倍 武義

「竹一ツ、竹一ツ」「竹一ツ」:

小学一年生の子らが、信号下の登校見守りの私に、息せき切つて駆け寄ってくる。

一昨年のある朝のこと。「竹」がどうしたのか尋ねるが、さっぱり要領を得ない。子らを見送つた後思い出した。前日、私は下の名前を聞かれ、「武義」と答えた。どう呼んだらいいか聞かれ、「武義だから、『タケ(武)』でも『ヨシ(義)』」でもと答えたのだ。今朝の子らは私に親しみを込め、「武、武」と呼んでいたのだ。次からは「さん」付けで呼んでもらうことに。その後、家庭でも私を「タケさん、タケさん」と言っ

いるらしい。

そして、昨年の小一の子らにとって、私は「ゴミおじさん」である。

私は、下校の見守りにレジ袋を持ち、通学路上のタバコの吸い殻、捨てられたマスクやお菓子の殻などを拾つて歩く。私が持つレジ袋に興味津々の小一の子らは、目を輝かせ、「その袋に何入っているの?」「おやつ?」「そうだよ。美味しいおやつだよ」「見せて」「わあ一ツ、ゴミだ一ツ」

そのうち、私はすっかりゴミおじさんに。下校の一年生、私を見かけると大声で、「あッ、ゴミおじさん」「ゴミおじさん、ここにゴミあるよ」

忘れもしない平成十七年十二月、栃木県で起きた一年女子児童の悲惨な事件。地域に登下校の見守りを依頼したところ、五百人を超す協力を得た。感謝に堪えない。退職後、その恩返しもあつて始めた登下校の見守りである。前述のように、これが結構面白い。

さて、今年の一年生と私にどのような関わりが生まれるか、とても楽しみである。

(平成二十二年三月退職)



『古文書』と『文化財』を楽しむ



大曲仙北
高橋正彦

教職を退き、早14年。10年はひと昔と言いますが、もっと時代を遡り、古い日本を繙きたい。先人が書き残した直筆文（古文書）を読めるようになりたいと思い、「大曲古文書に親しむ会」に入会しました。

ところが、古文書を読みこなすのは至難の業。ミミズの這ったような、謎の絵文字に見えます。崩し字は難解で、崩し方も様々。長年古文書と付き合っている先輩にはスラスラ読めても、私には訳がわからず四苦八苦。それでも、会の方の皆さんの助言や意見交換で少しずつ読み慣れ、段々楽しくなりました。

私の興味・関心は、どうも古い物に惹かれる性質があるようで、「文化財保護協会」の一員になっています。我が美郷町には川の流水を一箇所に集め、灌漑用水として分水するサイフォン式の『関田円型分水工』という建造物があります。完成は昭和13年で、180箇の分水孔から、各地域に配水されています。

この『分水工』が昨年の12月に国登録有形文化財に指定されました。文化財というと、お寺や神社の貴重な仏像や書画、築城技術がすごい城郭などが思い浮かびますが、我が町の『分水工』は現在も農業に利用されている生きた文化財です。設計は農業土木工学の第

一人者・牧隆康氏で築87年を経た現在も町内の水田を潤す貴重な文化財です。

平成8年に〈文化財登録制度〉が誕生し、文化財の保存と活用が推進されています。身近な『分水工』も観光に役立つ地域の資産として守り、大切にしていきたいものです。

「温故知新」の言葉の如く、古き物に新たな価値を見つけ、そのよさを生かす！これができるといいのですが……。

(平成二十四年三月退職)

不楽是如何



横手市
北條保

酔余口号

伊達 政宗

馬上少年過

世平白髪多

残軀天所赦

不楽是如何

これは、私が大学時代に所属していた詩吟サークルで好んで吟じた漢詩です。退職後は自由な時間で、思い思いに生活を充実させている諸先輩の姿を見てきました。ですから、「私も定年退職したら、自由時間が増え、好きなことをできるだろう」と、単純な未来像

を描いていました。

しかし、時代は変化しました。退職後には多様な生き方ができるようになりました。私は暫定再任用勤務を選んだため、平日は仕事に追われ、完全な「自由の身」ではありません。仕事はハードで疲れる毎日ですが、うれしいこともあります。一日の平均歩数は一万歩以上あり、睡眠の質がよくなりました。また、キラキラした子どもたちと一緒に活動することは、萎縮しつつある脳細胞の活性化や心と体のエネルギー充填に役立っています。

一方、週末は現役時代に体験できなかったことに挑戦しています。大好きな旅を計画し、遠方に住む級友との再会や街歩き・昼呑み、コンサート鑑賞等を楽しんでいます。また、野菜作りは今年から大幅に面積と種類を増やし、晩酌用の料理作りにも挑戦しています。どれも小さなことですが、達成感や非日常性を味わえる貴重な経験となっています。伊達政宗と比較するのはおこがましいですが「残された人生を楽しまないでどうしようか」という心境で、小さな喜びを積み重ねたいと思っていますこの頃です。

(令和五年三月退職)



健康で充実した生活を



湯沢雄勝

中川一志

「異常ありませんでした。中川さん、よかったですですね。」医師のこの言葉にほっとした。逆流性食道炎の診断を受けて以来、定期的に胃カメラで検査を受けている。今年四月に検査を受けた際、胃の組織片を採取された。十回近く検査しているが初めての経験である。検査結果が出るまでの二週間、二人に一人は癌になる時代、自分がかかっても不思議ではない。でもそうあってほしくない。もし癌だったら、いろいろなことを考えて不安な日々を送った。胃癌であることを半分覚悟して検査結果を聞きに行ったので、「異常ありません」の医師の言葉に胸をなでおろした。目の前がバツと明るくなるのが分かった。

おめでとうございます

(順不同・敬称略)

勲 叙 祝

氏名	現住所	功 勞	種 類	受章日
石井 勲	鹿角市尾去沢	教育功勞	瑞宝双光章	7・4・29
佐々木 忠治	大館市比内町	高齢者叙勲	瑞宝双光章	7・6・1
伊藤 克男	北秋田市鷹巣	高齢者叙勲	瑞宝双光章	7・6・1
五十嵐 寛一	北秋田市旭町	高齢者叙勲	瑞宝双光章	7・6・1
安部 哲男	仙北市田沢湖	教育功勞	瑞宝双光章	7・4・29

定年退職して五年目になるが、ウォーキングを続けている。ほぼ毎日五キロほど歩いている。何をやっても長続きしない私であるが、このウォーキングだけは、今のところ続けることができている。一日平均八千歩を指して歩いているが、昨年やっと目標をクリアすることができた。私が住んでいる地域は道路に歩道がなく、積雪時期は危険なので歩いていなかったが、昨年は車通りの少ない道を選んで歩いてみた。冬期間も歩いたことが目標達成につながったと思う。ウォーキングの甲斐があつてか、退職とほぼ同時に飲み始めた血圧の薬を飲まなくてもよくなった。秋田県では健康寿命日本一を目指して様々な取組が行われていると聞いている。この後しばらくは健康で、家内と一緒に近場の温泉めぐりや年に二・三回の旅行、退職後に始めた野菜作り、趣味のゴルフと五百歳野球、そしてウォーキングを続けたいと思っている。(令和三年三月退職)

秋田県退職校長会 公式 WEB サイト

URL : <https://stranger28.net/>
E-mail : admin@stranger28.net



※ 会員の皆様はもちろん、現職の校長先生方への広報もよろしく
お願いします。

【あとがき】

今年度は県退職校長会のホームページ開設とその活用についていろいろな会で話題となつていきます。総会での承認を経ましたので、公式webサイトを右に掲載します。是非一度ご覧いただき、多くの先生方にお伝えくださることを願っております。